

ここに川があった？

3 旧どんど橋親柱 (春日町2丁目)

かつて大きく蛇行していた千里川は、大雨の際に氾濫し地域に大きな被害をもたらしました。そこで、昭和42年(1967)の集中豪雨の後に、東側を流れるように工事を行い、この辺りは埋め立てられました。橋の両側で欄干を支える親柱は、当時の千里川の場所を今に伝えています。



右奥のネットフェンスの向こう側にも親柱があります

かつての暮らしを
尋ねて歩いてみよう



まちある記

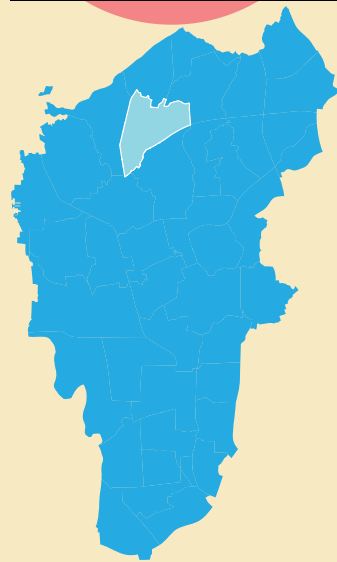
マチカネくんと歩く



第39回

自然と住宅地が調和したまち
少路から上野西へ

桜井谷東小学校区



卒業生の思い

2 少路高校の校名板 (少路2丁目)

平成19年(2007)に東豊中高校と一つになって千里青雲高校(新千里南町)に統合された少路高校の校名板が、少路2丁目第4公園にあります。「ここに母校があったことを忘れずにいよう」と同校の卒業生たちの思いで公園内に保存されることに。母校を思う気持ちは今も受け継がれています。

レンガ造りの校門の一部をそのまま保存しています



あひまふしや
うはく-細く-くま



自然が残る公園

1 羽鷹池公園 (少路1丁目)

噴水が望める休憩所や遊歩道があり、大人から子どもまで楽しめます。野鳥が飛び立つ風景などが、まちなかに残る自然を感じさせてくれます。



市内でも農業が盛んな地域の一つです。南北に千里川が流れ、さまざまな橋が東西を結んでいます。住宅地の中に自然が残るまち並みになっています。

◎桜井谷東小学校の花いっぱいプロジェクト

日ごろ通学路の見守りなど学校生活でお世話になっている地域の人たちに感謝しようと、2年前から始まりました。自分たちで3か月かけて育てた花を、地域の公園などに植え、皆さんに楽しんでもらっています。



苗の植え替えもします

住宅地にある江戸時代の遺構

④ 報恩寺書院の玄関 (春日町2丁目)

昔、蛭池地区に陣屋を構えていた麻田藩の藩主青木氏の屋敷表玄関を、書院の玄関として移設したものです。静かな住宅地の中で、江戸時代の風情を感じることができます。



当時のままの装飾が残る市指定文化財です

◎桜井谷あおぞら朝市



かつて農地がたくさんありましたが、今は住宅が増えたこの校区。地元の農家の皆さんが、当時のにぎわいを再現しようと、9年前から朝市を開催。校区内の畑で収穫された新鮮な野菜などが販売され、毎回大変なにぎわいです。

その日の朝に収穫した新鮮な野菜が並びます



9年前から9にぎわいの朝市を開催しています

南北をつなぐ歩行者道

⑤ 地下道桜町函道出入口 (桜の町6丁目～上野西4丁目)

大阪中央環状線の建設に伴い、昭和45年に箱型の道が造られました。南北を行き来する通行手段として、多くの人に利用されています。



歩行者道は約80メートルの長さがあります

◎千里川にかかる3つの橋

明治橋・新大正橋(桜の町6丁目)、昭和橋(上野西4丁目)は、造られたときの年号をとって名付けられました。農作業で牛や馬、荷車が必要だった当時、橋ができたことで移動が便利になり、地域の皆さんは大変喜んだそうです。



明治橋



昭和橋



新大正橋



11月号は、新田南小学校区をご紹介します。お楽しみに。